

# 志木二中だより

平成30年度 5月号  
志木市立志木第二中学校

平成30年5月1日(火)  
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379



## 新緑の季節に

校長 本 庄 真

新年度が始まり1か月がたとうとしています。授業中、教室をまわると、元気に発言する様子や、一年間の目標や自己紹介を書いた掲示物などを目にすることができます。また、廊下を歩くと、校庭での新体力テストの練習風景や、若駒学級の体験的な学習を見たりもします。放課後になると、1年生が部活動に入部し、上級生と一緒に活動している姿があります。

朝、校門に立ってあいさつをして感じるのは、元気のよい「おはようございます」が増えたことです。1年生がしっかりあいさつしてくれるので、2, 3年生も昨年よりパワーアップした気がします。さらに、同じ道を通る志木二小の児童も、大きな声であいさつしてくれる子が増えました。とてもうれしいことです。今度は朝、志木四小の校門にも行きあいさつしてこようと思います。

本校は、志木二小と志木四小と隣接していることもあり、早くから3校で「小中連携」を行ってきました。現在はさらに進めて、義務教育9か年を見通して教育課程を考える「小中一貫教育」に取り組んでいます。具体的には、中学校の教師が小学校で「乗り入れ授業」を行っています。音楽科の鈴木先生が両校に、数学科の齋藤先生と大澤先生がそれぞれ志木二小、志木四小に出向き、小学校の先生と協力して授業をしています。また、今年度は、英語科の塩澤先生が志木二小に籍を置き、志木二小、志木四小、そして志木三小の外国語活動の指導にあたっており、志木二中学区の英語力の益々のレベルアップを図ります。すでに行っているいくつかの「小中での交流活動」もより充実させていきます。

さて、「中1ギャップ」という言葉があります。小学校から中学校にあがると、環境が変わり学習内容も難しくなり、不登校になったりいじめが起きたり、ここに大きな段差があると言われていています。小学校を卒業して新しい制服に身を包み、希望を胸に新鮮な気持ちで中学校の門をくぐることはとても大事なことであり、そこに成長もあると思います。ただ、不要なギャップはできるだけ取り除くよう配慮することも重要なことです。毎朝の「おはようございます」を通じて、お互いの顔が見えるようになり、「小中一貫教育」の一端ができると思っています。

5月は、PTA総会や体育祭などたくさんの行事があります。引き続き、保護者、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。